

Press Release



S O M M A

SOMA 日本の森と素木の家具

SOMA: Japanese forests and the possibilities of untreated wood

2019年2月9日[土]—3月17日[日] | 竹中大工道具館 1Fホール

Sat 9 February – Sun 17 March 2019 | Takenaka Carpentry Tools Museum 1F Hall

関連記事掲載・番組等でのご紹介のお願い

このたび竹中大工道具館では、2019年2月9日（土）から3月17日（日）まで、企画展「SOMA 日本の森と素木の家具」を開催いたします。

本展は岐阜県美濃加茂市にアトリエを構える木工家 川合優が率いるライフスタイルブランド「SOMA」の活動を紹介するものです。

川合は、木工家として日々森や木と対峙する中で、日本古来の木の文化とその奥深さを体感すると同時に、国内の木材利用の状況などにも目を向けるようになりました。現在、日本では戦後間もない頃に将来を見越して植林されたはずの木々が有効に使われずに余り、その結果、山林を中心とした生態系が破壊されつつあります。その一方、日本は海外の森を伐採した安価な木材を大量に輸入しており、その数は年間木材消費量の7割にも及びます。川合は、そのような状況の解消や、森や木が傍にある日本古来の生活文化を現代に取り入れる方法を考え、2016年にSOMAを立ち上げました。一人の木工家が始めた活動は次第に多くの人々の共感を集め、家具の製造販売にとどまらず、ワークショップやフィールドワーク、森を活かすための活動など、様々なコラボレーションへと発展しています。本展は、多面的な活動を展開するSOMAの全体像を俯瞰できる初めての展覧会となります。

つきましては、是非貴媒体にて本展覧会をご紹介いただきますようお願い申し上げます。

なお、広報用に提供写真をご用意いたしております。読者・視聴者プレゼントにつきましても画像借用申込書にてお申し込みを受け付けております。ご希望の場合は、別紙の画像借用申込書にてご請求ください。その他、ご不明な点や資料等のご要望、撮影などの取材を希望される場合は、下記広報事務局までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

<お問い合わせ>

「SOMA 日本の森と素木の家具」展広報事務局（竹中大工道具館内）

〒651-0056 神戸市中央区熊内町 7-5-1

TEL：078-242-0216 FAX：078-241-4713 E-mail：soma@doujukan.jp

展覧会概要

名 称	SOMA 日本の森と素木の家具
会 期	2019年2月9日(土)～3月17日(日)
会 場	竹中大工道具館 1F ホール 〒651-0056 神戸市中央区熊内町 7-5-1 TEL: 078-242-0216 FAX: 078-241-4713
開 館 時 間	9:30～16:30 (入館は 16:00 まで)
入 館 料	一般 500 円、大高生 300 円、中学生以下無料、65 歳以上の方 200 円 ※常設展観覧料含む
主 催	竹中大工道具館、SOMA
お問い合わせ	「SOMA 日本の森と素木の家具」展広報事務局
公式 サイト	https://www.dougukan.jp/special_exhibition/soma

◆展覧会の見どころ <展示品総数約 40 点>

- ・日本の木を生かした作品のみならず、木目の見方や使い方、自然の面白さなど、多くの方に木や森の文化を発見、楽しんでいただける内容となっております。
- ・「SOMA」や川合の代表作および今回の展覧会のために制作した新作を通して「現代の木の楽しみ方」を紹介します。
- ・本展は、多面的な活動を展開する SOMA の全体像を俯瞰できる初めての展覧会となります。

◆ SOMA

2016 年に木工家 川合優を中心に設立されたライフスタイルブランド。日本産の木材を使用した商品をデザイン・生産するほか、椅子作りワークショップや森を歩くフィールドワークの開催などを通して、様々な角度から森や木の魅力を発見できる活動を展開。また、地域と連携した森づくりや森林資源の活用などにも関わり、日本の地理的な特性を背景として古くから育まれてきた「木と共に暮らす文化」を伝えている。ブランド名 **SOMA** は、杣人（山で働く人）、杣仕事（山の仕事）などに使われていた「杣（そま）」に由来。

madebysoma.com

◆ 川合優 (木工家 / SOMA ディレクター)

1979 年、岐阜県の農家生まれ。山を駆け回り、親類の経営する工務店で遊んで育つ。2001 年に京都精華大学建築専攻卒業後、飛騨での木工修行、京都での家具修行を経て 2007 年に独立。自身の作品制作に加え、2016 年に **SOMA** を立上げ、同ブランドのディレクターとして森と人との繋ぐ活動をしている。

kawai-masaru.com



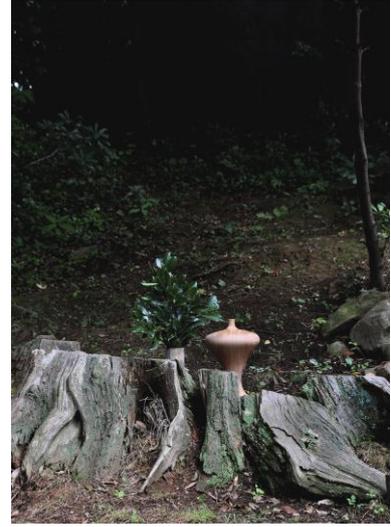
展示作品



2. 片口 (デザイン: 山口信博)



3. 屑入れ



4. 隠岐の島の瓶子



5. 丸盆



6. 紙棚



7. 檜とい草の椅子



8. 球体



9. 弁当箱

◆関連イベント

1 ワークショップ「ヒノキとい草のスツールを作る」(全2回)

ヒノキの丸太を割ってアナログな道具だけでスツールを作り、い草の紐で座を編みます。

日 時：2019/2/23 (土)・24 (日) 10:00～16:00

会 場：竹中大工道具館木工室

講 師：川合優 (木工作家・SOMA ディレクター)

参加費：20,000円 (材料費・入館料込み)

定 員：中学生以上7名 ※必ず全2回参加できる方

※応募者多数の場合は抽選

申込締切：2019/1/25 (金)



10. ワークショップ：ヒノキとい草のスツール

2 「技と心」セミナー[91] 「竹中大工道具館、周辺の森と庭ツアー」

竹中大工道具館の周辺と敷地内を歩きながら、生えている木のことや、森林や日本庭園の話をしていきます。そこにはどんな木が生え、どのような人の営みや思いが宿っているのでしょうか。

日 時：2019/3/2 (土)

①10:00～12:30、②14:00～16:30

会 場：竹中大工道具館庭、布引の滝ハイキングコース

講 師：三浦豊 (森の案内人)

川合優 (木工作家・SOMA ディレクター)

参加費：無料 (展覧会観覧の場合は別途要入館料)

定 員：各回15名 ※応募者多数の場合は抽選

申込締切：2019/2/1 (金)



11. 森を感じるツアー

【申込方法】

ウェブメールまたは往復はがきにて下記事項をご記入の上お申し込みください。

■ウェブメール

公式サイト(https://www.dougukan.jp/special_exhibition/soma)内よりお申し込みください。

■はがき

〔往信用裏面〕 ①イベント名 (ご希望時間も) ②参加者氏名 (フリガナ) ③郵便番号・住所
④電話番号 ⑤年齢

〔返信用表面〕 宛先に申込者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。

裏面は未記入のこと。

〔申込み先〕 〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 竹中大工道具館イベント係

※ハガキ1通につき1名様までお申し込みいただけます。

※参加可否の詳細は締切日以降10日程度でご連絡いたします。

※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、イベント以外の目的には使用いたしません。

※イベントの日時・内容は変更になることがあります。最新情報は公式サイトにてご確認ください。



◆当館のご案内

日本で唯一の大工道具の博物館「竹中大工道具館」は、大工道具を収集・保存し、研究や展示を通じて後世に伝えていくことを目的に設立されました。

常設展は7つのコーナーに分かれており、唐招提寺金堂組物の実物大模型、五感に響くハンズオン展示などを通して大工道具の魅力をお伝えします。

また博物館そのものが「匠の技の数々を肌で感じてもらえる場」となっており、建物の各所には大工や左官、瓦師などによる伝統の職人技をちりばめました。

シンボリックで自己主張の強い建築ではなく、人と自然をやわらかくつなぐ存在としての「和」の建築を楽しんでいただければ幸いです。

<アクセス>

山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩
約3分

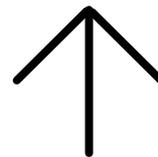
市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約
3分

シティ・ LOOP 「12 新神戸駅前(2F)」下車
徒歩約3分

神戸市バス2系統・18系統「熊内6丁目」
下車徒歩約2分







- ◆画像データ（JPEG）をご提供いたします。下記記入欄にご記入のうえFAXまたはメールにてお申込みください。画像データをメールにて送信いたします。
- ◆読者プレゼントとして当館招待券ペア（2枚）5組を提供することができます。
- ◆その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。

媒体名		
掲載予定日		
画像送付先	貴社名	
	ご担当者名	
	E-mail	
	ご住所	
	電話・FAX	
画像名 (番号に✓)	<input type="checkbox"/> 表紙	SOMA 展メインビジュアル
	<input type="checkbox"/> 1	川合優（木工家・SOMA ディレクター）
	<input type="checkbox"/> 2	片口
	<input type="checkbox"/> 3	屑入れ
	<input type="checkbox"/> 4	隠岐の島の瓶子
	<input type="checkbox"/> 5	丸盆
	<input type="checkbox"/> 6	紙棚
	<input type="checkbox"/> 7	檜とい草の椅子
	<input type="checkbox"/> 8	球体
	<input type="checkbox"/> 9	弁当箱
	<input type="checkbox"/> 10	ワークショップ：ヒノキとい草のツール
<input type="checkbox"/> 11	森を感じるツアー	
読者プレゼント	招待券	組

- ▶画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なさないでください。
- ▶掲載記事・番組内容について情報確認のためにゲラ刷り、原稿の段階で下記事務局までFAX送信ください。
- ▶お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに1部ご寄贈願います。

■ お問い合わせ先

「SOMA 日本の森と素木の家具」展広報事務局（竹中大工道具館内）
〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 TEL：078-242-0216 FAX：078-241-4713
E-mail：soma@doujukan.jp